

ワークスペース復旧ツール

Flex Work Place



© Yokogawa Rental & Lease Corporation 2015-2021 All Right Reserved

© 横河レンタ・リース株式会社 2015-2021 All Right Reserved

本資料の内容については、作成日時点のものであり、事前の予告なく変更される場合があります。

横河レンタ・リース株式会社は、本資料の一部あるいは全部について、一般的な公開情報を除き、著作権をはじめとするあらゆる権利を留保いたします。

本資料の第三者に対する開示・公表・頒布は、当社による事前承諾を受けた場合を除き、転載を禁止します。

Flex Work Place、データレス PC、Passage、Passage Drive、AppSelf、Unifier 及び Unifier Cast は、横河レンタ・リース株式会社の商標および登録商標です。

Windows Server / Windows / .NET Framework / OneDrive は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他のブランド名、製品名、会社名は、商標もしくは登録商標を所有する各社に帰属します。

横河レンタ・リース株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 4F

TEL : 03-5908-1815(代表)

改訂履歴

版	作成日	備考
1.0	2021年3月12日	初版作成

はじめに	1
本書について	1
本書の読者	1
第 1 章 ワークスペース復旧ツールの利用方法	2
前提条件	2
ワークスペース復旧ツールをご利用いただくための前提条件	2
ワークスペース復旧ツールの利用手順	3
ワークスペースの復旧	3

はじめに

本書について

本書は、Passage Drive ワークスペース復旧ツール(以降、ワークスペース復旧ツールと記載します。)の使用方法を説明しています。ワークスペース復旧ツールは、Passage Drive をマルチワークスペースモードで利用している環境において、ワークスペース情報ファイルが破損したことが原因でワンタイムワークスペースに移行してしまう環境を復旧するためのツールです。

- Flex Work Place Passage Drive v.1.1.4.3
- Flex Work Place Passage Drive ワークスペース復旧ツール

Flex Work Place は、横河レンタ・リース株式会社が提供する全く新しいデジタルワークスペースを実現するソフトウェア製品の総称で、Passage Drive は PC デバイスからユーザーデータを分離するデータレス PC™を実現します。

本書の読者

本書は、Passage Drive クライアントを利用する PC ユーザーと、保守/管理を行うシステム管理者の方を対象に書かれています。

また、本書を読むためには、以下の知識が必要です。

- Windows OS(サーバーOS、クライアント OS)に関する基礎知識
- Microsoft 365 と OneDrive に関する基礎知識
- Active Directory と Windows ファイルサーバーに関する基礎知識(対象 : システム管理者)

管理サーバーを構築しない場合は、Active Directory と Windows ファイルサーバーに関する基礎知識は、必ずしも必要ではありません。

また管理サーバーは、Passage Drive クライアントを数台導入した後、必要が生じたときに構築することも可能です。このときには Active Directory と Windows ファイルサーバーに関する基礎知識が必要になります。

第 1 章 ワークスペース復旧ツールの利用方法

前提条件

この節では、ワークスペース復旧ツールをご利用いただくための前提条件を記載しています。

ワークスペース復旧ツールをご利用いただくための前提条件

分類	前提条件
ツール実行環境	<p>ワークスペース復旧ツールは、Passage Drive クライアントを利用する PC ユーザーで実行する必要があります。</p> <p>Windows の一般ユーザー権限で実行可能ですので、管理者権限は必要ありません。</p>
Passage Drive 環境	<p>ワークスペース復旧ツールが対象とする Passage Drive 環境は、以下の条件を満たす必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「同期対象ストレージ」が「OneDrive」であること。 「ワークスペースの指定方法」が「マルチモード」であること。
OneDrive 環境	<p>ワークスペース復旧ツールは、Passage Drive クライアントと OneDrive が正常に同期できる環境で実行することを前提としています。</p> <p>ワークスペース復旧ツールは、OneDrive 上に PassageDrive フォルダー、および、ワークスペースとして利用しているフォルダーが既に存在していることを前提としています。</p>
ワークスペース復旧の制限	<p>ワークスペースとして指定されたフォルダーのサブフォルダーとしてワークスペースとして利用するために必要なフォルダーが存在しない場合、ワークスペース復旧時に自動作成します。</p> <p>[ワークスペースとして利用するために必要なフォルダー] Downloads、SavedGames、Contacts、Desktop、Favorites、Music、Pictures、Videos、Documents</p> <p>同じ名前のワークスペースを複数作成することはできません。</p> <p>1 つのフォルダーを複数のワークスペースとして利用することはできません。</p>

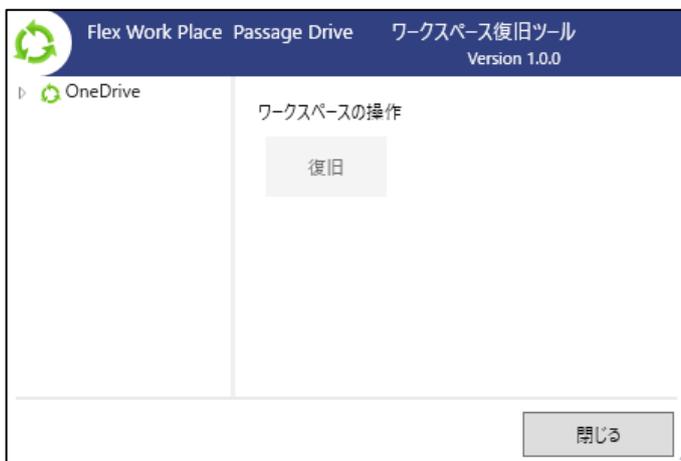
ワークスペース復旧ツールの利用手順

この節では、ワークスペース復旧ツールをご利用いただく手順を記載しています。

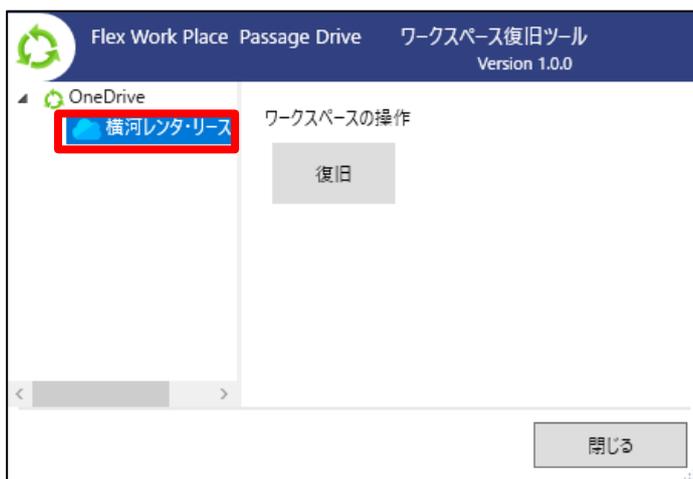
ワークスペースの復旧

(1) ワークスペース復旧ツールを実行します。

次の画面が表示されます。



(2) ワークスペースが存在する OneDrive アカウントをクリックします。



 OneDrive 配下に何も表示されない場合、OneDrive との同期状態が正常であることをご確認ください。

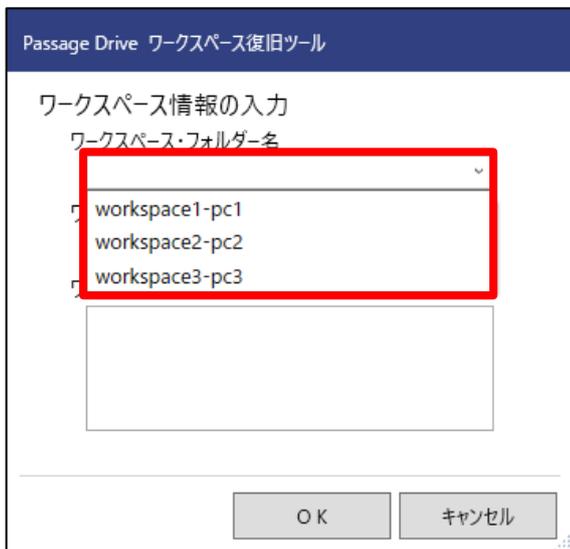
Passage Drive クライアント利用ガイド

(3) 「復旧」 ボタンを押下し、「ワークスペース情報の入力」画面を表示します。



(4) ワークスペースとして利用するフォルダーを選択します。

ワークスペースの選択肢として、PassageDrive 直下のフォルダーが表示されます。
選択肢の中から、ワークスペースとして利用するフォルダーを選択してください。



Passage Drive クライアント利用ガイド

(5) ワークスペース情報を入力します。

Passage Drive ワークスペース復旧ツール

ワークスペース情報の入力

ワークスペース・フォルダー名
workspace1-pc1

ワークスペース名 (50文字以内)
workspace1

ワークスペースの説明 (500文字以内)

OK キャンセル

入力項目

項目	前提条件
ワークスペース名	必須入力項目です。 「ワークスペース・フォルダー名」を選択すると、ワークスペース名の候補として、ハイフン(-)より前の文字列を自動入力します。 自動入力されたワークスペース名を変更することは可能です。 同じワークスペース名を持つワークスペースを複数作成することはできません。 「ワークスペース名」の文字数制限は、50文字です。
ワークスペースの説明	任意の入力項目です。 複数のワークスペースを使い分ける場合に、ワークスペースの用途を記録するためのメモ欄としてご利用ください。 「ワークスペースの説明」の文字数制限は、500文字です。

Passage Drive クライアント利用ガイド

(6) 「OK」 ボタンを押下すると、ワークスペースを復旧します。

ワークスペースの復旧に成功した場合、「ワークスペースが復旧されました。」と表示されます。

